

Chrysos de Chrysos



社会福祉法人 福岡福祉会

特別養護老人ホーム アルテン赤丸

～自然と笑顔があふれる施設～

30th

Anniversary

30年



社会福祉法人 福岡福祉会 【基本理念】

「お年寄りを敬愛し、尊敬する」を基本理念とし、法人全体で
お客様一人ひとりの幸せのため、「思いやり」と「おもてなし」の気持ちで支え、
「安心・安全・信頼」の高齢者福祉サービスを行います。

Omoiyari & Omotenashi



AKAMARU

「おもいやり」と「おもてなし」の気持ちと
「アルテン赤丸」をシンプルに表現したロゴマーク。

Contents

- 01-02 事業所紹介
- 03-10 職員インタビュー
- 11-12 沿革

事業所紹介

特別養護老人ホームアルテン赤丸



特別養護老人ホーム

常時介護を必要としながらも、心身に何らかの障害があるため、在宅では十分な介護を受けることが困難な要介護認定者の方に安心して生活していただけるように、身の廻りのお世話をさせていただきます。入所は、要介護認定で「要介護3～5」とされた方が対象となり、グループに分かれて家庭的な雰囲気の中で生活していただきます。安心して安らぎを感じる生活空間を目指します。



デイサービスセンター

アットホームな雰囲気の中で利用者様が楽しく、元気よく過ごしていただけるように、豊かで充実したシニアライフの一助を担います。季節を楽しむ行事やお出かけ、ご入浴・お食事、楽しいレクリエーションなど、利用者様と笑顔を交わしながら多種多様な取り組みを通して日常生活のサポートを行います。自立に向けた支援を行い、利用者様の心身機能の維持向上と利用者様の家族負担の軽減を図ります。



ショートステイ

ご家族の介護負担の軽減と、利用者様がご家庭と同じように安心してご利用いただけるようなサービスの提供に努めております。一人一人の利用者様が、ご自宅にいるようにゆったりとお過ごしいただける自由な時間やご利用者同士での交流を楽しむにぎやかな時間など、利用者様のペースを尊重しながら、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援させていただきます。



居宅介護支援

介護保険の認定を受けられている要介護者が、住み慣れた地域で生活が継続できるよう介護支援専門員(ケアマネジャー)がご本人の意向を尊重し、家族等と相談しながらケアプランの作成、サービス事業者、その他関係機関との連絡調整、介護保険に関わる事務手続きの代行を行っています。



地域包括支援センター

地域の高齢者総合相談窓口として活動しています。寝たきりや認知症、一人暮らし、虚弱等で不安に思ったり、困っているご本人やそのご家族が、医療、保健、福祉、介護等のサービスが適切に受けられるよう、連絡、調整等を行い住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的に相談に応じています。また、運動機能や口腔機能の向上教室を開催し、いつまでも元気で暮らしていただけるよう介護予防に取り組んでいます。

※地域包括支援センターは、高岡市の委託を受けて事業を行っています。

福岡地域包括支援センター



国吉・五位地域包括支援センター





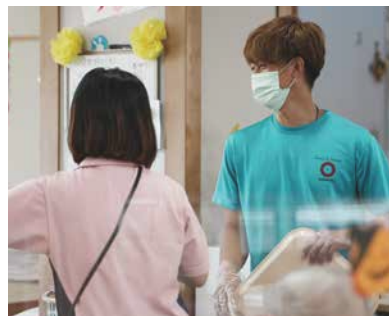
person
01

自分のトレーニングで、歩けるように。
最高の瞬間。

杉崎 広学 さん

デイサービス機能訓練指導員

採用年 2012 年



Q 理学療法士になったきっかけは

自分がスポーツをしていたということもあって、身体の仕組みや機能に興味があり理学療法士になりました。利用者の方と長期的に関わることができる場所で働きたいと考え、福岡福祉会に入職しました。長期間担当していると同じ訓練メニューになりがちですが、その時利用される方の状況に合わせて変化を加えながら「できる」を叶えていけるようにサポートしています。ご家族やスタッフとも情報交換をして、お一人お一人丁寧に向き合っています。

Q 日頃から大切にしていることは

生活状況に合わせて目標と一緒に考えるため、利用者の方のお話を聞くことを一番大事にしています。日頃の生活についてしっかりとヒアリングをした上で、自宅で少しでも快適に過ごせるようになるための訓練を提供できるように心掛けています。利用者の方から「できるようになったよ」という言葉をいただいたときは本当に嬉しいです。

Q アルテン赤丸はどんな場所ですか

自分のスキルを活かして利用者さんの力になれる環境があるのはありがたいですね。利用者の方と色々なお話が出来て、毎日が楽しいです。ライフスタイルから畑のことまで幅広く教えてもらっています。これからもひとりひとりの利用者の方と仲を深めていきたいです。

Q 今後の目標はありますか

私たちの日頃の取り組みを地域のみなさんに知ってもらえるきっかけをもっと作っていきたいです。コロナ禍で地域を交えた行事などもなかなか開催できないので難しいところではありますが、より気軽に足を運んで利用していただけるように考えていきたいです。



person
02

利用者の方としっかり向き合うために、
オンとオフにメリハリを。

荒木 理恵 さん

特別養護老人ホーム介護係長

採用年 2003 年

Q 介護士になったきっかけは

幼い頃から祖父母と一緒に暮らしていて、家庭での介護の場面を間近に見てきた中で自然と介護士に興味を持ち始めました。高校卒業後、短期大学での勉強を経てアルテン赤丸に就職しました。学生の頃にいろんな介護施設を実習で訪れましたが、特に特別養護老人ホームで働いてみたいと思いました。特別養護老人ホームには認知症や寝たきりなど、要介護の高い利用者の方が多いです。中には、人生最期の生活の場所として選ばれる方もいらっしゃいます。入所から最期のお見送りまで利用者の方と長く向き合っていく過程で、私も力になりたいと感じました。

Q 日頃から大切にしていることは

お一人お一人と平等に向き合ってコミュニケーションを交わし、施設で安心して暮らしてもらえるように取り組んでいます。伝えたいことがあってもなかなか言葉にできない方もいらっしゃるので、声かけや観察を細やかに行い、表情や仕草から伝えたいことを汲み取って丁寧に対応しています。時には、入所したばかりの時は不安で眠れないなど、施設での生活に慣れるまで時間のかかる方もいらっしゃいます。そんな時はご家族にとっても助けられています。ご家族の協力があるからこそ、利用者の方に安心して馴染んでもらえる施設での暮らしを叶えられています。

Q アルテン赤丸はどんな場所ですか

利用者の方と私たちスタッフが、お互いにあたたかい気持ちを交わし合っている場所だと思います。私たちは介護を通して利用者の方のできないことを手助けしていますが、利用者の方からの「ありがとう」の言葉や笑顔を見せてもらうことで私たちも助けられていると感じています。

Q 今後の目標はありますか

スタッフが気持ちよく働ける環境づくりも、自分の大切な役割だと思っています。管理職になってからは利用者の方と直接触れ合う時間が少なくなりましたが、私が関われない分を他のスタッフのみなさんに密に関わってもらえるように、出来る限りのバックアップをしていきたいです。





person
03

ここではね、いくらでも人に優しくして良いんですよ。

下出 俊夫 さん

デイサービス所長 採用年 2007 年



Q 介護士になったきっかけは

25歳の頃、友人の勧めがあって始めました。実務を始める前は、自分が介護業務をしっかりとかねさせるのか不安で、介護士の仕事を長く続ける自信もありませんでした。しかし、実際に介護の仕事を始めてみると楽しいと思えましたね。些細な事で利用者の方が感謝の気持ちを伝えてくださるので、とても背中を押してもらえました。誰かに一日のうちに何度も「ありがとう」と声をかけてもらえることって、なかなか無い日常だなと思っています。恥じらうことなく相手に素直に優しさを表現できるので、介護士をしていてよかったなと思います。

Q 日頃から大切にしていることは

利用者の方に、一日一回でも笑顔になってもらいたいと心掛けています。自分が考えたレクリエーションを利用者の方に喜んでもらえる時が一番嬉しいですね。例えば季節を楽しめるように、中秋の名月の日にはみんなで一緒に折り紙でお団子を折ってお月見のしおりを作りました。コロナ禍で制限される部分もありますが、できることから、小さなことから、利用者の方と触れ合う中で共に笑顔になれる時間を生み出していきたいです。

Q アルテン赤丸はどんな場所ですか

のびのびと働けて、やりたいことにも寛容な環境だと思います。それは、スタッフ同士が前向きに助け合っているからです。介護は、ひとりではできません。チームケアだと思っています。自分が持っていない力をスタッフ同士が補い合い、主役である利用者さんに向き合っています。また、利用者さんのご家族にも協力的な方が多く、日頃から助けられています。特にデイサービスはご家族との距離が近いので、ご家族もチームケアの一員になってくださっていることがとても心強いですね。これからは助け合いながら、利用者の方とスタッフ双方にとってより楽しい場所にしていきます。

Q 今後の目標はありますか

利用者の方の声にしっかりと耳を傾け、より満足できるサービスを提供していけるチームを育てていけるように、新しいことをどんどん試してみたいです。介護業務はルーティンになりがちです。ただ続けていくとマンネリ化してしまいます。利用者の方もスタッフも、みんなが介護現場の日常を面白いと感じてもらえるように工夫していきたいです。スタッフひとりひとりが自主的にスキルと意識を高めていける、良いチーム作りに取り組んでいきます。



person
04

「ありがとう」が私の原動力

中島 愛菜 さん

デイサービス生活相談員兼介護職員 採用年 2022 年

Q 介護士になったきっかけは

“14歳の挑戦”で訪問した病院での実習体験をきっかけに、介護士を目指そうと考えました。ひとつひとつの些細なやりとりに「ありがとう」と喜んでもらえて嬉しかったことを覚えています。また、介護士だけでなく生活相談員についても学びたいと考えて資格を取得しました。私の家族は、仕事をしながら在宅介護をしています。家族の姿を見て、もっと楽に在宅介護ができるようにサポートをしたいと思ったからです。今年から新卒で入職したアルテン赤丸では、介護と生活相談員の両方の業務を行っています。

Q 日頃から大切にしていることは

利用者の方の言葉をしっかりと聞いたり、考えを肯定したり、前向きに傾聴する姿勢を大切にしています。最初はなかなかできなかったのですが、今は自分らしく利用者の方に接することができています。自分をよりオープンにすることで、利用者の方もいろいろなお話しをしてくださって仲が深まり、コミュニケーションが弾むようになったと感じています。

Q アルテン赤丸はどんな場所ですか

いろんな人と関われるおもしろい場所だと思います。利用者の方とお天気やニュースのことなどの何気ない会話から、多様な考え方を知ることができています。利用者の方から福岡の地域のことも教えてもらえるので、地域のことも身近に感じるようになりました。

Q 今後の目標はありますか

生活相談員は、施設の外の人たちの繋ぎ役でもあります。生活相談員としての自信をもっと持てるようになりたいです。スタッフ同士や他の事業所の方々と積極的にコミュニケーションをとって、円滑な関係を築いていきたいです。





person
05

信頼関係を大切に。
敬意を持って関わりたい。

島 伸嘉 さん

特別養護老人ホーム介護主任

採用年 2009 年



Q 介護士になったきっかけは

新卒でアルテン赤丸に介護士として就職しました。介護士になってからますます「ありがとう」が良い言葉だと感じるようになりました。利用者の方の笑顔や「ありがとう」の言葉が日々の癒しであり、モチベーションになっています。

Q 日頃から大切にしていることは

利用者の方と信頼関係が築けていないと、適切なケアができないと思っています。信頼関係が生まれれば、お互いに“できること”が少しずつ増えてきます。「○○できましたね」と利用者の方と一緒に成功体験を喜ぶことで、心の距離がさらに近くなっていくと感じています。そうやってコミュニケーションを交わしていくうちに、安心して心を開いて下さると嬉しいですね。

Q アルテン赤丸はどんな場所ですか

育児に対して前向きで協力的な環境がある場所だと感じています。実は私は、ここで妻と出会って結婚しました。今も夫婦でアルテン赤丸で働いています。私にとって特別な場所ですね。スタッフが声を掛け合って、助け合いながら柔軟に働けていることに感謝しています。

Q 今後の目標はありますか

スタッフ同士で学び合いながら介護スキルを高めていきたいです。適切な移乗の仕方やリスクマネジメントなど、知識を備えて啓発していくことで予防できることがたくさんあります。これからも環境改善を重ねていけるように、スタッフ間のコミュニケーションも密に交わしていきたいです。アルテン赤丸が利用者の方にとって「ここにいれば安心」「ここにいてよかった」と思ってもらえる場所であり続けたいです。



person
06

もっと、もっと知りたいんです。
仕事のことも。地域のことも。

石浦 亜実 さん

福岡地域包括支援センター 社会福祉士

採用年 2020 年

Q 社会福祉士になったきっかけは

元々は、子どもたちと関わるお仕事がしたいと考えて福祉課のある高校に進学しました。学校の授業で社会福祉士について学んだときに、高齢化が進んでいく社会の中で重要なお仕事だなと感じて憧れを抱くようになりました。高校卒業後に専門の大学へ進学し、新卒で福岡地域包括支援センターに配属されました。私たち社会福祉士の役割は、誰もが自宅で自分らしく生活できるように支援することです。身体的・精神的・経済的なハンディキャップのある方々も、少しでも自分らしい生活が営めるように私も力になりたいと思いました。

Q 日頃から大切にしていることは

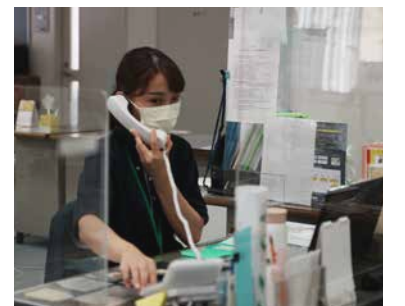
地域の方々が気軽に話しできる雰囲気づくりを心掛けています。私たちは、介護予防に取り組む地域の集まりの場だったり、時にはご自宅に伺うこともあったりと、地域の方々に会いに行きコミュニケーションを交わすことが多いです。一回きりの訪問でヒアリングを行うことも少なくありません。突然知らない人が訪問してきたら、誰でもびっくりしますし家の扉を開けるのも怖いですね。そんな中でも安心して対話をしてもらえるように、日々試行錯誤しています。

Q 福岡地域包括支援センターはどんな場所ですか

毎日学びがあって、成長できる場所だと思います。わからないことに対して助けてくれる人が施設内にも地域にもたくさんいて、日頃からとても支えられています。地域のみなさんにも育てていただいていると感じています。みなさんへ恩返しができるように、自分ができることを一生懸命に取り組んでいきたいです。私にとって初めて働いた場所なので、これから益々かけがえのない場所になっていくと思っています。

Q 今後の目標はありますか

もっといろいろな地域の方々とお会いして、相談技術を高めていきたいです。まだまだ成長の余地があると思っています。入職した当初からコロナ禍で、みなさんのお顔があまりわからず、自分の表情も見せられないことがもどかしいと感じています。でも、例えば「素敵なマスクですね」とマスクをきっかけに会話が弾むこともあります。私も、少しでも表情を明るくしたくて黄色のマスクを身につけています。コロナ禍ならではのマスクコミュニケーションも、楽しく工夫していきたいです。





person
07

人生の大先輩から、
日々勉強させてもらっています。

茂古沼 江里 さん

福岡地域包括支援センター 所長 採用年 1992 年



Q 社会福祉士になったきっかけは

最初は看護師として福岡福祉会に入職しました。福岡地域包括支援センターの前身となる在宅介護支援センターの開設と同時に、看護師の知識を活かして福祉支援業務を担うようになりました。ケアマネジャーや社会福祉士の資格も取得し、現在までいろいろな業務を経験させていただいています。病院や施設では利用者の方以外の地域の方々と接する機会がありませんが、地域包括支援センターでは自分が地域に飛び込んでいきます。出会う方々それぞれの生き方に、いつも人生の勉強をさせていただいています。

Q 日頃から大切にしていることは

まずはお話を受け入れて傾聴することを大切にしています。安心して相談していただけるように、住民のみなさんの信頼を得ることが一番重要です。自分の困り事を誰かに相談するのは、勇気が必要ですね。あたたかく迎え入れて、常に相手の立場で考えることを忘れてはいけなと思っています。相談に訪れた時の表情と帰る時の表情に、明るい変化があると嬉しいですね。

Q 福岡地域包括支援センターはどんな場所ですか

チャレンジ続けられる場所だと感じています。福岡福祉会に入職したからこそ、看護師・ケアマネジャー・社会福祉士と多様な業務経験ができています。長く勤めさせていただいていますが、マンネリは無く宿題がいつもあってやる気に満ちています。私の職業人としての可能性を伸ばさせていただいています。生きがいを感じる毎日ですね。

Q 今後の目標はありますか

アルデン赤丸の開設当時からお世話になっているので、私が役に立てることで少しでも恩返しをしたいです。私のように「ここで働けてよかった」と思えるように次の世代に紡いでいきたいです。また、地域の福祉の見守り役の方々と連携しながら、困っているみなさんの次の一歩に繋がるようなご提案や、地域のニーズに合わせた新しい取り組みを進めていきたいです。



person
08

コツコツと、会話を重ねて
安心できる場所に。

四柳 崇 さん

特別養護老人ホーム 課長 採用年 1992 年

Q アルデン赤丸で働く事になったきっかけは

障害者施設で働いていた時に、利用者の方が日常生活の中で少しでも笑顔になれるような“楽しめる機会作り”を仕掛けていきたいと考えていたところ、アルデン赤丸が開設すると聞きました。新しい施設で、何も無いところから行事や企画を作り上げていくことが、大変ではありますが楽しみでした。最初は地域の行事に交えていただき、少しずつ地域との繋がりを深めながら納涼祭などの行事を開催できるようになっていきました。決して自分たちだけでは成し遂げられないことなので、地域みなさんに感謝しています。

Q 日頃から大切にしていることは

毎日、朝と晩に利用者の方のお部屋へあいさつ回りに行っています。ほんの少しの会話の時間ですがとても大切にしています。普段の業務は事務仕事が多いのですが、やっぱり利用者の方と触れ合うことが好きなので、動けるときはなるべく顔を合わせるようにしています。

Q アルデン赤丸はどんな場所ですか

利用者の方の笑顔や「ありがとう」の言葉から、喜びをいただける場所です。コロナ禍でいろいろな制限が増えてご不便をおかけしてしまっている中でも、一緒に散歩に出掛けたり会話を交わしたり、できることから利用者の方に笑顔になっていただける取り組みを続けていきたいです。

Q 今後の目標はありますか

時代の流れと共に、介護を取り巻く環境が変化してきています。それに伴って、現場のスタッフの対応も複雑化しつつあります。スタッフに対しても出来る限りのサポートをしていきたいです。利用者の方や地域みなさんにとって、安心してご利用いただける場所であり続けたいですね。



summary of 1990-2022

福岡福祉会、これまでの歩み

1990～

- ・社会福祉法人福岡福祉会 設立発起人会開催
- ・社会福祉法人福岡福祉会 設立の認可
- ・社会福祉法人福岡福祉会 設立の登記
- ・第1回理事会開催
- ・特別養護老人ホームの設置の認可 アルテン赤丸 定員 50 名
- ・老人居宅生活支援事業の開始 アルテン赤丸 20 床
- ・特別養護老人ホームアルテン赤丸 入所者受入開始（3 名入所）
- ・施設ボランティアの活動が始まる
- ・第1回 アルテン赤丸七夕祭り ・第1回 アルテン赤丸敬老会
- ・第1回 アルテン赤丸クリスマス会 ・第1回 アルテン赤丸節分会
- ・第1回 アルテン赤丸雑祭り
- ・アルテン赤丸在宅介護支援センター（老人介護支援センター）の設置、事業開始（福岡市より受託 平成 25 年度まで）
- ・施設ヘルパー派遣事業（福岡市より受託 平成 9 年度まで）
- ・第1回 アルテン赤丸納涼祭 ・第1回 アルテン赤丸盆踊り
- ・第1回 アルテン赤丸運動会
- ・広報誌「すげがさ」の発行開始
- ・高円宮殿下 アルテン赤丸へご来臨
- ・第1回 アルテン赤丸新年会（初釜）



平成 3 年アルテン赤丸建設工事



竣工式



竣工式テープカット



子どもみこし

1996～

- ・「デイサービスセンターだより」の発行開始
- ・介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）公布
- ・第1回 アルテン赤丸文化祭開催（3/9～3/14）
- ・指定居宅サービス事業者（指定居宅介護支援事業者）の指定 アルテン赤丸居宅介護支援事業所 居宅介護支援事業者



第1回文化祭

2000～

- ・介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）施行
- ・介護保険法第 48 条第 1 項第 1 号の指定 介護老人福祉施設 特別養護老人ホームアルテン赤丸
- ・指定居宅サービス事業者（指定居宅介護支援事業者）の指定 アルテン赤丸デイサービスセンター 通所介護 指定 H12・4・1～
- ・指定居宅サービス事業者（指定居宅介護支援事業者）の指定特別養護老人ホーム アルテン赤丸 短期入所生活介護（併設事業所型 短期入所利用定員数 20 人）指定 H12・4・1～
- ・特別養護老人ホームアルテン赤丸増築・拡張工事 30 床増床、20 床拡張（修祓式、竣工式 H13・3・28）
- ・2000 年富山国体炬火リレーの中継箇所になる
- ・福岡市身体障害者デイサービス事業を受託 特別養護老人ホームアルテン赤丸（～H4・3・31）
- ・福岡市生きがい活動通所支援事業を受託 アルテン赤丸デイサービスセンター（～H4・3・31）
- ・「社会福祉法人福岡福祉会 苦情処理体制要綱」を施行（苦情処理第三者委員を置く）
- ・評議員会の設置 定数 17 名
- ・アルテン赤丸開設 10 周年記念式典
- ・アルテン赤丸入所者物故者追悼法要 53 名（第 1 回物故者法要）
- ・富山県が「富山県特別養護老人ホーム入所指針」を施行（平成 15 年 5 月 1 日から運用開始）



2000 年国体



ベギー葉山さん来苑

2004～

- ・介護保険法等の一部を改正する法律（平成 17 年法律第 77 号）公布
- ・介護保険法等の一部を改正する法律（平成 17 年法律第 77 号）の一部施行により、居住費・食費が保険給付の対象外とされる（低所得者に対する負担上限額を設定。新たに補足給付〔特定入所者介護サービス費〕を創設）
- ・西砺波郡福岡町と高岡市が合併し高岡市となる
- ・「特別養護老人ホームアルテン赤丸における看取りに関する指針」を施行
- ・「感染症及び食中毒予防及び蔓延防止に関する指針」を施行
- ・介護保険法等の一部を改正する法律（平成 17 年法律第 77 号）の全面施行（新予防給付・地域包括支援センターの創設、地域密着型サービスの創設）
- ・指定介護予防サービス事業者の指定 アルテン赤丸デイサービスセンター 介護予防通所介護
- ・指定介護予防サービス事業者の指定 特別養護老人ホームアルテン赤丸 介護予防短期入所生活介護
- ・指定介護予防支援事業者（所）の指定 指定介護予防支援 福岡地域包括支援センター
- ・福岡地域包括支援センター業務開始
- ・「社会福祉法人福岡福祉会 褥瘡予防に関する指針」を施行
- ・居宅サービスに係る基準該当障害福祉サービスの事業を行う事業者としての登録種類：身体障害者デイサービス事業所：アルテン赤丸デイサービスセンター（～R3・3・31 事業廃止）平成 19 年度
- ・「元氣とやま！仕事と子育て両立支援企業表彰」を受賞



お笑いコンビ「雷鳥」のお 2 人と



射水神社に初詣

「笑顔重ねて」

2008～

- ・「社会福祉法人福岡福祉会 事故発生防止のための指針」を施行
- ・アルテン赤丸キッズクラブ（放課後児童預かり事業）開始（終了 平成 27 年度）
- ・高岡市安全運転管理者協議会 安全運転管理優良事業所表彰を受賞
- ・アルテン赤丸創立 20 周年記念式典開催（U ホール）



利長君と新年会



高岡大仏見学

2012～

- ・高岡市地域防災計画に基づき、高岡市と「災害時における福祉避難所の設置及び運営に関する協定」を締結
- ・「高岡市ワーク・ライフ・バランス推進事業所」に認定される
- ・特別養護老人ホームアルテン赤丸「看取り介護に関する指針」を施行
- ・ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業) によるアルテン赤丸空調設備・給湯設備導入等改修工事
- ・太陽光発電事業（収益事業）を開始（運転開始 H27・8・1）
- ・社会福祉法等の一部を改正する法律（平成 28 年法律第 21 号）公布



サンダーバース選手と七夕活動

2017～

- ・福岡福祉会定款の全部改正（「評議員の選任及び解任」の規定は H29・4・1 施行）
- ・介護予防・生活支援サービス事業の指定アルテン赤丸デイサービスセンター 通所型サービス A 10 名、現行相当サービス（みなし指定）
- ・介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス C（すこやか運動教室）開始（高岡市より受託）
- ・市民共創チャレンジ事業（高岡市補助事業）として「いきいきライフ広場」を開設〔地域公益事業活動〕（令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症のため活動中止、令和 3 年度は「いきいきわくわく通信」を発行）



御車山会館見学

2018～

- ・富山県表彰規則による産業経済（障害者雇用）功労を受賞
- ・地域公益事業 ふれあいまつりでの地域交流
- ・富山県災害福祉広域支援ネットワーク協議会設立災害派遣福祉チーム員 2 名を推薦
- ・「インフルエンザアラートと感染対策」を施行
- ・地域公益事業 赤丸文化祭（赤丸公民館）への作品出品
- ・地域公益事業 介護予防教室（認知症予防教室）開催



カトレア会による演奏会

2020～

- ・「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル[福岡福祉会コロナアラート]」を施行
- ・社会福祉法人福岡福祉会のロゴマークを作成



民踊クラブ

2021～

- ・「社会福祉法人福岡福祉会 虐待の防止に関する指針」を施行
- ・「特別養護老人ホームアルテン赤丸 身体拘束に関する指針（平成 22 年制定）」を「社会福祉法人福岡福祉会 身体拘束廃止に関する指針」に全部改正



リハビリ体操

2022～

- ・介護予防支援事業所の指定 国吉・五位地域包括支援センター
- ・国吉・五位地域包括支援センター 業務開始



国吉・五位地域包括支援センター



社会福祉法人 福岡福祉会
特別養護老人ホームアルテン赤丸

〒939-0101 富山県高岡市福岡町赤丸1103-1

TEL 0766-31-5222

創立30周年記念誌

インタビュー動画はこちら▽

